

令和元年度天皇杯受賞者受賞理由概要
林産部門

厳しい気候条件下で地元の森を育てる夢に挑戦を続ける苗木生産者

○氏名又は名称 谷口 洋一郎・谷口 希子

○所在地 北海道川上郡標茶町

○出品財 技術・ほ場（苗ほ）

○受賞理由

・地域の概要

標茶町は、北海道東部に位置し、南部は釧路湿原を有している。太平洋気候であるため積雪量は比較的少ないが、夏と冬の寒暖差が大きく、夏は日照時間が短く、冬は土壤凍結が発生するという厳しい気象条件である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

谷口氏は、昭和 60 年に有限会社谷口山林種苗農園の代表取締役役に就任した。北海道の造林樹種であるカラマツ、トドマツを中心に年間 70 万本の生産規模で、釧路管内の約 7 割の苗木を占めている。近年では、コンテナ苗生産やクリーンラーチの採種園の造成を始めるなど新たな挑戦を続けている。

・受賞者の特色

(1) 地域の環境に適した苗木生産

苗畑を標茶町と弟子屈町に有し、気候が違う各々の苗畑で樹種、季節に合わせて苗を移動させて床替えすることで、気象害を防止するなど地域に適した育苗を実践している。また、床替え 1 回から 2 回に増やして発根を促すことにより、活着率が良く安定した品質の苗木を生産しており、購入者からの評判も良好である。

(2) クリーンラーチ採種園への取組

新たな造林樹種として期待されるクリーンラーチの苗木の生産を早期に行い、平成 30 年から地域に適した品種育成のため、クリーンラーチの採種園を造成した。また、民間で成長に優れた種苗の母樹の増殖に取り組む特定増殖事業者として認定を受けている。道内の採種園の中でも、採種木の活着率が特に高く良好な状況であり、数年後には、種がなり始めるものと期待されている。

(3) 女性の活躍

就労者の約 6 割が女性であり、女性専用トイレの設置や大型機械の運転資格取得を支援するなど女性が働きやすい環境を実現している。近年は、人手不足であるが、希子夫人の人脈を活かし、地元の短期就労者を長年に渡り受け入れており、人材確保に励んでいる。

・普及性と今後の発展方向

「地元の種を地元で植えて、地元の森を育てる」という夢のもと、手間をかけた良質な苗木は地域の需要を支えている。次世代への継承についても娘 3 人が就労するなど、生産体制は安定している。また、多くの森林で主伐・再造林の時期を迎えた今日、クリーンラーチ採種園への挑戦など更なる発展が期待できる。